

Weekly Report

2010~2011年度



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのメンバーは、地域を育み、大陸をつなぐという使命を背負って活動しています。今年度の活動は、この使命を達成するために、多くの努力を払ってきました。来年は、さらに一歩進んで、地域社会に貢献できるよう努めます。皆様のご協力をお願いします。

平成22年10月12日(火)

第1555回例会

会長 安藤 登
幹事 山口 篤
会報 中村 和広

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1555回例会記録 平成22年10月12日(火) 14/45回

<点鐘>

安藤登会長

<ニコニコ委員会>

鈴木委員

<ソング> それでこそロータリー

第2590地区ガバナー 川野正久様→「川崎百合丘ロータリークラブの皆様、こんにちは。本日はお世話になります。本年度の貴クラブのご活躍とご発展、また貴クラブの会員の皆様のご健勝を祈念いたします。『地域を育み、大陸をつなぐ』。第3グループガバナー補佐 鈴木彬道様→本日はガバナー公式訪問の付き添いにまいりました。よろしく願いいたします。当クラブより 安藤登会長→「川野ガバナー、鈴木ガバナー補佐ようこそ」。山口篤幹事→「国際ロータリー第2590地区ガバナー 川野正久様、第3グループガバナー補佐 鈴木彬道様、今日はよろしくお願いいたします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亭会員、安藤志子会員、井上久会員、井上勇会員、伊丹会員、鴨志田会員、北島会員、小塚会員、内藤会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、東会員、大矢会員、尾崎会員、佐藤会員、関山会員、嶋会員、玉井会員、田内会員、寺尾会員、碓井会員、渡邊会員、山口福枝会員、山崎会員、結城会員、鈴木会員。

<お客様ご紹介>

安藤登会長

第2590地区ガバナー

川崎北RC

川野正久様

第2590地区第3グループガバナー補佐

川崎多摩RC

鈴木彬道様

<会長報告>

安藤登会長

1. クラブ雑誌委員長会議開催のご案内
尾崎雑誌委員長に依頼いたします。
2. ガバナー事務所より、インターアクト提唱クラブ
会長及びインターアクト委員長に、韓国慶尚北道の
インターアクターとの交流を通し一晩のホーム
ステイのお願いの件
3. インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、提
唱クラブ青少年交換学生ホストクラブ会長に地区
大会本会議・新世代コーナーにご登壇お願いの件

<幹事報告>

山口篤幹事

* 文書着 川崎南RC 川崎日吉RC 川崎中RC

川崎とどろきRC 川崎高津RC 横浜あざみRC

* その他

- ・ロータリー英語版が届いております。
- ・当クラブ10/19(火)は職場訪問です。お間違えないように。大勢のご参加をお願いいたします。

第1557回 10月30日 地区大会

第1558回 11月2日 招聘卓話

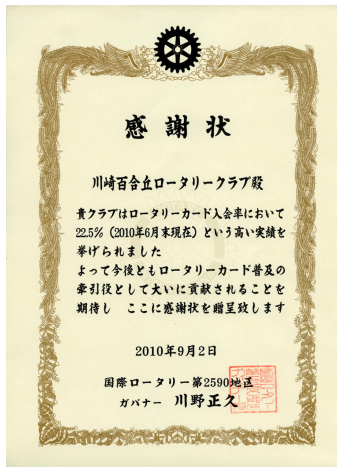
第1559回 11月9日 クラブフォーラム

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ロータリー財団>

北島委員長

川野ガバナーより、ロータリーカードの高入会率クラブに対する感謝状をいただきました。



当クラブより、安藤登会長と山口篤幹事がベネファクターとなりました。

安藤登会長→「ベネファクター」。山口篤幹事→「ベネファクター」。田内会員→「入会記念で」。

<社会奉仕委員会>

中村委員長

次週は職場訪問です。最初に訪問する『東華軒』の稼動時間内に合わせて時間が早めになっております。時間厳守でご協力をよろしくお願いいたします。
集合場所 新百合ヶ丘駅北口 麻生区役所前
集合時間 7:40 出発7:45

<出席委員会>

山口福枝委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1555回	41*	33	8		80.49%
第1554回	41*	31	10	7	92.68%

*出席免除会員1

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	32件	43,000円	385件	453,000円
財団	1件	15,000円	17件	222,000円
ベネファクター	2件	172,000円	2件	172,000円
米山	0件	0円	17件	212,000円

本日のプログラム

先に第3グループガバナー補佐 鈴木彬道様よりご挨拶と川野ガバナーの略歴のご紹介がありました。「先週のクラブ協議会では大変お世話になりま

した。貴クラブがガバナー公式訪問の最後のクラブということでホッとしています。また地区大会、IMもありますので皆様のご協力をお願いいたします」。



<第2590地区ガバナー卓話>

川野正久様

第2590地区、川崎北RCの川野正久です。貴クラブは大変まじめで、またロータリーを大変楽しんでるクラブであると思います。素晴らしい1年に、また更なる活躍を祈っております。そしてこのクラブのルーツであるチャーターメンバーには、ぜひお元気で、今後ともご指導を賜りたいと願います。

安藤登会長は『四つのテストの再認識』、『楽しくなければロータリークラブじゃない』と強調されています。山口幹事には会長の下について、会長が十分に力を発揮できるようにサポートしていただけるようお願いいたします。

最近のロータリーは何か物足りない。アンケートを取ったところ3つの問題点が挙がりました。

①クラブに指導性がない。

②クラブに魅力がない。

③感動する奉仕活動がない。

人道的な奉仕活動をするために我々は良い知恵と良い力を合わせて行動していただきたいと思います。

この中でも、魅力あるロータリーとは

①思いやりのある友人の集まり

②ロータリーの綱領と四つのテスト、職種の倫理性を大切にしよう

③異業種交換を尊重しよう、職業分類の未充填を充填しよう

④どんなプログラムもロータリーの原点に戻り、スクラップアンドビルドが必要

一人一人がロータリアンとして品のある、自覚のある、そして誇りを持っていただきたいと思います。またあくまで異業種の交流ですが、10%ルール

用による同業種の方は情報交換をもって更なる発展につなげていただきたい。そしてロータリーの原点は親睦と奉仕という2つの柱で成り立っています。2つの心を1つにするのは皆さんの例会の出席です。

先日、米国サンディエゴにおきまして、国際協議会が行われました。『入りて学び 出でて奉仕せよ』の大きな看板がありました。ロータリーにあっては全員が生徒です。例会の場は『自己研鑽の場』であり、また例会場を出たら学んだことを奉仕し、実践するという意味です。

レイ・クリングスミスRI会長のロータリー歴をご紹介します。元ロータリー財団奨学生であり、1961年ユニオンビルRCに入会しました。14年目に第605地区ガバナーを努め、RI理事、R財団管理委員、39年目で国際ロータリー会長になりました。米国ミズーリ州カークスビルの弁護士でありカークスビル・トルーマン州立大学に22年間勤務されています。今私が着ているブレザーはRI会長と同じ赤紫です。このテーマ・ブレザーの導入は25年前に始まりました。毎年色が違うのは国際大会などで同期のガバナーを見つけやすいからだそうです。

2010～11年度のRIテーマは、『地域を育み 大地をつなぐBuilding Communities Bridging Continents』です。ロータリーとは何か、ロータリークラブは何をする団体なのか。ロータリーを知らない人たちにロータリーの目的を説明すること、ロータリアンに活動の意義の再認識してもらう、この2つを満たすテーマとなっています。

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、は例会を通じて自己を高め、職業を通じて善き市民となり、地域社会を住みやすく、働きやすい場所にすること。すなわち『地域を育み』を意味します。

一方国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解・親善・平和を広め、世界をより良くすること。この国や大陸に橋をかけること。すなわち『大陸をつなぐ』を意味します。

RIの最優先事項について

①ポリオの撲滅

②青少年にかかわる活動

ポリオは未だインド、バキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ国で感染しています。この4カ国

は、文化的・宗教的問題、地理的孤立、インフラ整備、武装紛争中で予防が非常に困難な状況です。しかしながら、近い将来ロータリーの活動でポリオ撲滅の約束を果たすことになるでしょう。

青少年にかかわる活動ですが、今まで約5万人近くの奨学生が留学の機会を与えられ、約6万人のGSEチームが別の国での研修を経験し、約10万人以上の青少年交換学生が海外のホストファミリーにお世話になっています。このように次世代を担う青少年にかかわる活動は国際理解・親善・平和に大変重要な役割を担っています。国際親善奨学生だったRI会長は特に、青少年の活動に意欲を持っています。

2010～11年度 地区方針9項目

①「ロータリーの綱領」を推進し、ロータリーを楽しむ。

②RIの最優先事項『ポリオの撲滅』、『青少年にかかわる活動』、及びRIの強調事項として人道的支援に関する活動を推進する。

③各クラブの自主性を尊び、クラブ奉仕の充実を図り、職業奉仕の重要性を理解する。

④各クラブ5%以上の会員純増。

⑤ロータリー財団への寄付は会員1名あたり年次寄付120ドル、及び各クラブでベネファクター2名以上を目標とする。

⑥米山記念奨学生への寄付は、会員1名あたり普通寄付5,000円、特別寄付20,000円、計25,000円とする。

⑦広報の重要性の認識、情報の活性化によるロータリー活動の円滑化を高める。

⑧RIのテーマ『地域を育み 大地をつなぐ』に沿った五大奉仕プロジェクトを実施。特に国際理解・親善・平和を育みつなぐロータリー財団、米山記念奨学会の趣旨を理解し、より推進する。

⑨“One for All All for One”

ひとは全員のために 全員はひとりのために

会員一人一人がクラブの大事な24の歯車です。噛み合った人と人との友情こそクラブの活性化・奉仕の情熱の高揚に不可欠であると確信しています。会員各位の結束した意識と行動で充実した目標をたて、楽しい実り多い年度を目指してください。

10月29日、30日は地区大会です。その時にもぜひ皆さんの勉強の場としてご参加いただけることを願っています。どうぞよろしく願いいたします。

